

山口大学 埋蔵文化財資料館だより

No. 7

[1989年秋の号]

山口大学埋蔵文化財資料館

企画展 《さわってみる歴史》 第4回 『不思議の国のミュージアムV o 1. 2 — 学内発掘10年の歩み —』 展 開 催 中!

現在、埋蔵文化財資料館では、前回の企画展に引き続き、これまで10年間の間に山口大学構内で発見した遺物を中心に展示を行なっています。

今回は奈良時代から、江戸時代までの歴史にスポットをあて、当時の人々の生活の一面でも知っていただければと思っています。

場所 埋蔵文化財資料館 展示室
時間 8:30～17:00(土曜～12:30)
日曜・祝日休館

学外の方も誘って、どうぞおいでください



中 展 中
世 示 世
の の の
墓 一 食
角 器



目 次

- ・第4回企画展 紹介1
- ・第3回企画展 アンケート結果2
- ・接点7【環境学と考古学—プラントホルダー—】...3
- ・山口県内の遺跡を訪ねて～江戸時代～.....4
- ・シリーズ 遺物からの「発見!!」～石鈴～.....5
- ・発掘調査速報～亀山構内 附属幼稚園
山口小学校敷地～5
- ・業務報告6

第3回企画展

『不思議の国のミュージアム-学内発掘10年の歩み』展 アンケート結果

(第1部; 旧石器時代～古墳時代, 1989年6月～9月)

第3回企画展では、旧石器～古墳時代の生活復原をメインテーマとし、環境復原図や模型を製作し、それぞれの遺物が、どの様に使われたかできる限り再現しました。

【1. 所属部局】

【アンケート回答者 28名】

学生 14 (理4 人文・教育・農各3 経1) 教官 2 (人文1 教養1)
事務官 2 (人文・理1 事務局1) その他 10 (地元の方、他大学の学生など)

【2. 企画展を知ったきっかけ】

依然、たまたま通りかかった人が圧倒的に多く (12名)、埋蔵文化財資料館だよりで知った人 (6名) が次ぎます。ポスターは小さすぎたのか (3名) 効果はいま一步でした。

【3. 前回の第2回企画展への来館状況】

前回来られていない方が7割を占め、新たに知っていただけで幸いです。

【4. 一番印象に残ったもの】

壁一面の絵 (10名)、住居の復原 (4名)、壺棺 (3名) の順でした。

【5. 展示の良い点、悪い点】

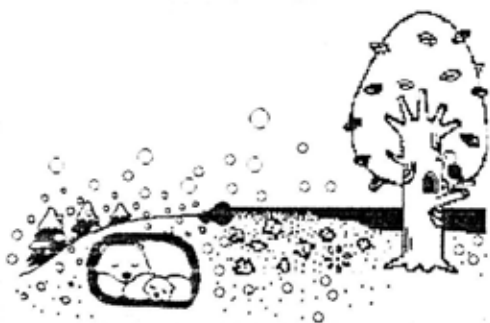
良い点では、絵や模型により視角に訴えるというのが一番多く (12名)、次にさわれるところ (3名) があがっていました。悪い点では、建物構造の指摘を除き、説明不足でわからない (5名)、寂しい (2名) というのがあがり、より客観的に系統だてて説明を補い、それぞれの展示物の用途・時代の比較が行なえるようにしようと考えています。

【6. 今後の企画展に望むこと】

死後の世界をテーマに望む声が多かった (4名) のですが、第2回の『古代人の信じたもの』展と同様になり、即、次回にはいきません。しかし、1つのコーナーとしてなるべく考えてみたいと思います。

【7. 埋蔵文化財資料館への質問、要望】

努力が足りず、今回ももっとPRするようにとの意見が最多 (3名) で、次にもっと開かれた施設にするように (2名) との意見があがりました。



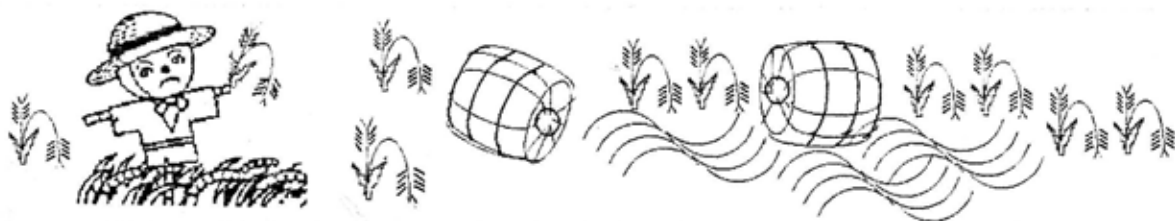
あなたは今朝、朝食に何を食べられましたか？。トーストにパン、ご飯に味噌汁、それとも寝坊して何も口にしていない諸氏もいらっしゃるかもしれません。

日本人は米を食べて2000有余年になりますが、では、日本列島で米作りが行なわれた証拠として、どんな事例が遺跡、遺物からあげられるのでしょうか。炭化した米や『資料館だより第1号-遺物からの発見-』でご紹介した土器の底についた籾の跡など、米そのもの、もしくはそれに近いものはもちろんです。また、水田農耕に用いられた開墾土掘り具（鋤・鋤など）、収穫用具（石庖丁・石鎌など）、脱穀用具（杵・臼など）などが状況証拠としてあげられるでしょう。しかし、実際に米を栽培した水田が発見されることが望ましいのは言うまでもありません。それを証拠だてる一つの方法にプラントオパール分析があります。



植物には珪酸（ガラス質）でできた特殊な細胞物質があり、植物珪酸体と呼ばれています。この物質は植物が枯死しても分解されず、長期間土壤中に化石＝プラントオパールとして残存しています。植物珪酸体は4種類の細胞で構成されており、このうちの機動細胞珪酸体はイネ科植物の属・種の違いによって、それぞれ固有の形・大きさをもっていることが知られているのです。

プラントオパール分析とは、土壤中に残存するこの植物珪酸体を定性・定量的に調べ、その元の植物種の同定や量を推定する方法です。例えば、長い年月を経て堆積した土壤中のある層からイネの機動細胞珪酸体が一定量ピークをもって確認された場合、その層がある時期の水田であったことを示しています。考古学的な発掘調査の場合、事前に水田の存在を予測することは極めて困難で、試し掘りを行なう際、プラントオパール分析などによって水田の存在を想定していきます。水田には通常、大小の畦が設けられており、イネの機動細胞珪酸体が集中して発見された層を土壌の性質も含めて丹念に調べることによって、畦や水田を見つけることができるのです。このようにして佐賀県唐津市の菜畑遺跡や福岡市の板付遺跡などで水田が発見され、今や稲作の開始は縄文時代晩期に遡ることが明らかとなったのです。



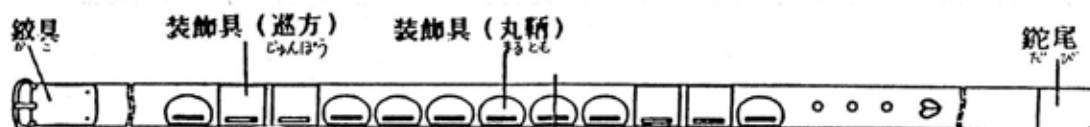
【資料紹介コーナー】 遺物からの「発見!!」

せっか 丸もとも
石銚 (丸鞆) - 石製の帯飾り -

吉田構内の大学会館敷地で見つかった石銚(丸鞆)は、蒲鉾型で、幅4.1cm、長さ2.5cm、厚さ0.6cmです。素材は黒色の石です。これは、奈良時代から平安時代初めの貴族の朝服(儀式用制服)のベルトの飾りです。この黒色の飾りをつけた帯は烏油腰帯(くろつくりのこしおび)といい、6位から下の官人が用いていました。しかし、庶民には許されませんでした。帯は、長さ150~200cm、幅2~4cmです。両端の金具は銅製が多く、上級官僚は金具も飾りも金銀で作りました。



石銚(原寸大・表)



調査速報

- 教育学部附属幼稚園・山口小学校の調査 -

8月21日から10月22日まで山口市白石にある教育学部附属幼稚園・山口小学校で、下水管理設工事に先だって発掘調査を行ないました。同敷地では、昭和58年、当資料館の調査で古墳時代中期(今から約1500~1600年前頃)の竪穴住居跡や溝が見つかり、それまで知られていなかった新しい遺跡であることがわかりました。また、それにともなって多量の土器、鋤・鍬・鴛形米製器などの木製品も出土し、その後の調査が期待されていました。

今回の調査でも新たな発見がいくつかありました。

まず、はじめて弥生時代の竪穴住居跡が2棟発掘されたことです。同敷地の南東にある亀山では弥生時代中期の終り頃(今から約1900年前頃)貯蔵用の竪穴が見つかっており、この遺跡との関連性が今後の問題となりそうです。

また、弥生時代の終り頃から古墳時代にかけて流れていた河川が3本確かめられました。当時の人々が水辺に集落を構えていたことがわかるとともに、河川に埋まっていた植物の葉・種子や木片を調べれば、人々が生活していた自然・生活環境を復原することが可能です。

このほかにも、弥生時代から室町時代の柱穴や溝も見つかっており、この地が長期間生活の場であったことを示しています。



業務報告 [1989年7月～10月]

★調査……事前調査1件、試掘調査1件、立会調査2件。

1. 小串 医学部MRI棟新営 (6月26日～7月6日) …遺物包含層確認 (旧石器～縄文, 中世)
2. 亀山 附属幼稚園・山口小学校汚水排水管理設 (8月21日～10月22日) ◎5ページ参照
24箇所中11箇所、遺構・遺物を発見 (弥生～古墳, 中世)。一部計画変更
3. 吉田 吉田寮ボイラー棟地下貯油槽設備改修。(10月2・3日) …遺物包含層確認 (古墳)
4. 吉田 第2武道場排水溝設置 (10月9日) …顕著な知見なし。

★埋蔵文化財資料館運営委員会(11月10日)

★外部からの図書寄贈【7月～10月】 貸出しもしています。ご利用ください。

【松任市教育委員会】…『塚原オオミナクチ遺跡』『横江入遺跡』
『八田小淵遺跡』『竹松C遺跡』『中村ゴウデン遺跡』
【富山県埋蔵文化財センター】…『理文とやま 第27号』『同28号』
【筑波大学歴史・人類学系】…『歴史人類 第17号』
【東京大学】…『東京大学本郷構内の遺跡 理学部7号館地点』
【名古屋市博物館】…『名古屋市博物館だより 69』『同 70』
【豊田市郷土資料館】…『旧井上家西洋館移築復元工事報告書』
【京都府埋蔵文化財調査研究センター】
『京都府埋蔵文化財情報 第32号』
『京都府埋蔵文化財情報 第33号』
【高槻市教育委員会】…『場上郡跡跡地関連遺跡発掘調査概要』
【大阪府教育委員会】…『東北考古資料館だより No.39 縄文の世界』
【大阪文化財センター】…『大阪の埴輪窯』
【八尾市文化財調査研究会】…『小阪合遺跡』『八尾あれこれ』
『八尾南遺跡第2地点の旧石器』
【帝塚山考古学研究所】
『縄文早期を考えるー押型文文化の諸問題ー』
【神戸市立博物館】…『博物館だより No.28』『同 No.29』
【鳥取市教育委員会】…『岩古遺跡』
【岡山大学】…『岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 第2号』
『岡山大学構内遺跡調査研究年報6』
【草戸千軒町遺跡調査研究所】
『草戸千軒町遺跡ー第37～39次発掘調査概要ー』
【御調町教育委員会(広島県)】…『本郷平庭寺』

【日本はきもの博物館】…『日本はきもの博物館だより 35』
『はきもの世界史』
【広島大学】…『広島大学統合移転地埋蔵文化財発掘調査年報VII』
【広島県埋蔵文化財調査センター】…『ひろしまの遺跡 第37号』
【菊川町教育委員会(山口県)】…『下七見遺跡1』
【山口県教育委員会】…『羽波遺跡 片山遺跡』『上同原古墳群』
『清水遺跡』『岡の鼻遺跡』『下岡田遺跡』
『綾羅木郡台地遺跡』『土井ヶ浜遺跡』
【小野田市歴史民俗資料館】…『我家の愛蔵品展 大谷石郭屋』
【愛媛大学】…『愛媛大学埋蔵文化財調査室ニュース1』『同2』
『同3』『同4』
【北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室】…『菊水町遺跡2』
『上徳力遺跡1』『同2』『高津尾遺跡1』『同2』
『徳力土地区画整理事業関係調査報告2』『真川遺跡2』
『尾巻・山ノ神遺跡』『香月遺跡ー第3地点ー』
『紅梅(A)遺跡2』『愛宕遺跡IV』『岡遺跡』
『研究紀要 第3号』『埋蔵文化財調査室年報5』
【大野城市教育委員会】…『大野城市の文化財 第21集』『出口遺跡』
『牛頭ハセムシ遺跡群II』『牛頭井手窯跡群』『仲島遺跡III』
【宇佐佐土記の丘歴史民俗資料館】
『宇佐佐土記の丘歴史民俗資料館年報 1988』
【宇佐市教育委員会】…『駅館川高城遺跡群発掘調査報告1』『同II』
【別府大学付属博物館】…『別府大学付属博物館だより No.33』
『別府大学付属博物館だより No.34』
『記録井関書拍帳ー豊前国下毛郡西原村庄屋記録ー』

* 本冊子は、各講座、教官に一部ずつ配布していますが、ぜひ学生個人でもお持ちい *
* ただきたいと考えています。当館で配布しておりますので、ご希望の節は気軽にご来 *
* 館下さい。また、各学部事務室にも置いてありますので、ご自由にお取り下さい。 *

編集余話

本年度予定の大きな調査も終わり、これからは、年度末に向け、報告書作りで忙しくなります。寒くなり、どうしても出不精になりがちですが、どうぞ当館にもおいでください。

山口大学 埋蔵文化財資料館だより

No.7... [1989年秋の号].....

発行 11月30日

編集 山口大学埋蔵文化財資料館

〒753 山口市大字吉田1677-1

☎代 (0839)22-6111 内線299

利用案内(入館無料)

8:30～17:00(堀 12:30) 日・祝 休館

